今大会チラシ・ポスターデザイン

作成に当たっては地元長岡にある長岡造形大学の学生に依頼を致しました。2つの異なるデザインの連作となっており、1つは選手の真剣な表情をとらえた写真を大胆にトリミングする事で力強さを表現し、大会における熱意を感じさせる作品です。もう一つは刷毛を持つ手を万人に受け入れやすいイラストで表現しています。この異なる2種類のデザインを並べる事で、一体何のポスターだろう？と見る人の興味を誘う事で大会への関心へと結び付ける狙いがあります。

パンフレット表紙デザイン：不撓不屈 ― 再生の象徴フェニックスと野生復帰した朱鷺

長岡市は、戦災や震災など幾多の試練を乗り越えてきた歴史があり、フェニックスをシンボルとしています。新潟県「県の鳥」朱鷺は国内外の支援の輪により人工繁殖に成功、現在は野生復帰を果たしました。どんな苦労や困難にもくじけない『不撓不屈（ふとうふくつ）』の精神で大会に挑む選手をイメージしています。

一般社団法人
日本塗装工業会

日本塗装工業会 検索

日本塗装工業会　新潟県支部 検索

第27回

全国建築塗装技能競技大会

日程　令和5年 10月18日㈬～19日㈭

会場　ハイブ長岡 大展示場ホール
新潟県長岡市千秋3丁目315-11

主催　一般社団法人 日本塗装工業会

後援　国土交通省、厚生労働省、新潟県、富山県、石川県、福井県、長岡市、中央職業能力開発協会、（一社）日本塗料工業会、日本塗料商業組合、日本建築仕上材工業会、長岡造形大学、（一社）長岡観光コンベンション協会、（一社）新潟県建築士事務所協会、新潟日報社、㈱日本工業経済新聞社 新潟支局、㈱北陸工業新聞社 新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

会長あいさつ

一般社団法人 日本塗装工業会　会長　**加 藤 憲 利**

この度、第27回全国建築塗装技能競技大会を4年ぶりに新潟県長岡市において開催することとなりました。開催にあたりましては、国土交通省、厚生労働省のご指導ご鞭撻をはじめ、関連諸団体、報道機関のご支援ご協力を頂きました。とりわけ開催地である新潟県ならびに長岡市ご当局の深いご理解を賜り厚く御礼申し上げます。また当会北陸ブロック、新潟県支部、技能委員会の皆様には、コロナ禍による様々な制限下での諸準備に多大なるご尽力を頂きました。実行委員長はじめ関係各位には、衷心より御礼、感謝申し上げます。

本大会は昭和43年東京都渋谷区の塗装会館におきまして、全国より29名の精鋭を集めて第1回大会が開催されました。以来、今日まで脈々と歴史を刻んで参りました。この間、新材料・新工法の開発、技能の多様化、環境問題など社会情勢の変化に伴い、競技課題や使用材料等を変更して参りました。そして今大会は、平成25年の第23回大会以来、競技課題をはじめ様々な見直しを行いました。主催者一同、時代に沿った大会になるものと確信しております。

さて、少子高齢化、人口減少の時代を迎えた我が国において、塗装業界では処遇改善をはじめ若手技能者が働きやすい環境を整えていくと同時に「技術の継承・技能の伝承」「人づくり」を推進し、「希望あふれる塗装工事業」として次世代を担う有為な後継者を育成することが求められております。本大会は、技能者としての誇りや日ごろの努力の成果を広く内外に示すものであります。大会を通じ、多くの方に塗装工事業へ関心を持って頂くと同時に、塗装の持つ魅力や可能性をアピールする絶好の機会となっております。

また、当会では「女性活躍の推進」実現のため、昨年度から「けんせつ女子ビューティーセミナー」を全国各地で企画・開催し、多くの建設に携わる女性にご参加いただきました。加えて、新たな取り組みとして、女性会員および後継者との意見交換会の全国での開催を計画しております。まだまだ女性塗装技能者が少ない中、今大会では多くの女性選手が各地で選抜されました。女性活躍の旗手として、遺憾なく日頃の力を発揮頂きたいと思います。

結びに、選手を派遣して頂きました会員各社の皆様には大会へのご理解を頂き誠に有難うございます。お蔭様で回を追うごとに充実して参りました。心より御礼申し上げます。今後も、技能委員会を中心に塗装技術・技能に対するたゆまぬ研究と研鑽を続けてまいりたいと思います。数多くの技能士の中から選ばれた出場選手の皆様は、卓越した技能を有するだけでなく業界の模範となる方々でもあります。日頃の実力を遺憾なく発揮され、力いっぱい健闘されますことをご祈念申し上げご挨拶とさせて頂きます。

実行委員長あいさつ

実行委員長　**加 藤　　正**

いよいよ本年、令和5年10月18日、19日の2日間に渡り、新潟県長岡市のハイブ長岡で第27回全国建築塗装技能競技大会を開催することとなりました。大曲、土浦と並び、日本三大花火大会の一つ、長岡花火の開催地であります。

この技能競技大会は、昭和43年に東京で第1回大会が開催され、前回第26回大会は令和元年に北九州市で開催されました。今大会は4年ぶりの開催となり、全国10ブロックから選ばれた37名の卓越した技量を持った選手が塗装の技を競います。また、今大会から競技課題が大幅に見直され、より技術、技能が重要視される課題となっております。

本部及び技能委員会のご指導のもと、北陸ブロック会員一丸となって準備を重ねて参りました。

大会ポスターは、長岡造形大学の学生さんに作成を依頼いたしました。2つの異なるデザインの連作となっており、一つは選手の真剣な「表情」をとらえた写真を選定し、大胆にトリミングをすることで力強さを表現しました。また、もう一つは刷毛を持つ「手」を、若い人や女性にも受け入れやすいイラストレーションで職人の手仕事のぬくもりを感じられるデザインとなっております。この二種類のインパクトのあるデザインを並べることで、一体何のポスターだろう？と見る人の興味をそそり、強い存在感を放ち、人々の目を引き、大会のことをしっかりと伝えるポスターとなっております。

競技課題（B）課題の色は新潟県鳥である「朱鷺」にちなみ、「朱鷺（とき）色」にしました。日塗装のロゴマークも「朱鷺色」に映えることでしょう。

塗装の目的は保護と美観です。環境への配慮や新技術、新材料の発展と共にそれを支える技術・技能の継承は最重要課題であります。本大会が優れた技能者を称えるとともに、のちに続く人材を創出し、今までに培った技能を将来へと繋げて行く事を目的としています。

選手の皆さんには、内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞等、各賞の受賞を目指して、日頃の技術技能をいかんなく発揮される事を切に願います。

最後になりましたが、御後援、御協賛をいただきました関係官公庁、各団体及び企業、メーカー・販売店、各位には心より厚く御礼を申し上げ挨拶とさせていただきます。

大 会 役 員

注）◎印　部会長　　○印　副部会長

大会会長	加藤　憲利			
大会副会長	若宮　昇平	松室　利幸	西下　武則	宮木　章吉
北陸ブロック代表	林　　孝			
実行委員長	加藤　　正			
実行副委員長	林　　孝	祖泉　信宏	岡本　保男	青柳　博之
総務部会	◎若山　良夫	○島村　元章	○齋藤　春行	内田　　仁
選手サポート部会	◎清水　武彦 福島　信之	○佐藤　重也	○海津　直史	曽我　栄司
会場設営部会	◎服部　邦英 山田　茂典 今井　利典	○阪西由紀夫 富澤　　肇 土田　慶和	土田　直人 小野塚　実 諸橋宏次朗	高橋　伸光 斎藤　正安 渡辺　　司
支給品および採点部会	◎岩尾　憲諭 羽入田義徳	○平川　由博	平林　健恒	金田　真人
顧問	木村　一美	齋藤　春夫	三浦　政實	

大会実施要領

1. 開催日時

令和5年（2023年）10月18日（水）・19日（木）

2. 開催場所

ハイブ長岡　（一財）長岡産業交流会館
新潟県長岡市千秋3丁目315番地11

3. 目的

大会に参加する選手個々の人格、識見の高揚を目指し、より高度な塗装技能を競い、技能士としての自覚と能力の向上を図ることを目的とする。

4. 主催

一般社団法人　日本塗装工業会

5. 後援

国土交通省、厚生労働省、新潟県、富山県、石川県、福井県、長岡市、中央職業能力開発協会、（一社）日本塗料工業会、日本塗料商業組合、日本建築仕上材工業会、長岡造形大学、（一社）長岡観光コンベンション協会、（一社）新潟県建築士事務所協会、新潟日報社、㈱日本工業経済新聞社 新潟支局、㈱北陸工業新聞社 新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

6. 選手参加資格

（一社）日本塗装工業会　第27回全国建築塗装技能競技大会ブロック大会の成績上位者
〈ブロック大会参加資格〉
・1級または2級の建築塗装技能検定の取得者
・出場選手は本会会員またはその従業員であること
・過去大会出場経験者も認める（一部出場不可）

7. 競技内容

所定の競技課題を所定の材料と工具を使い作成し、その作業動作及び完成度について競技する。

全体タイムスケジュール

出場選手／ 審査員

出場選手

月	日	時間	予定
前日	10/17（火）		各選手任意の時間にチェックインし、ホテル宿泊 ※要前泊選手のみ
第1日	10/18（水）	12：00〜13：00	会場集合、受付（時間厳守）、昼食
		13：00〜13：30	着替え・記念撮影
		13：30〜13：40	競技課題の説明
		13：50〜14：20	開会式
		14：20〜14：30	ラジオ体操・作業支度
		14：30〜18：00	競技1日目（競技時間3時間30分）
		18：00〜18：30	着替え・貸切バスでホテルへ移動
		18：30〜	夕食、ホテル宿泊
第2日	10/19（木）	7：20〜 7：30	ホテル出発、競技会場へ移動
		7：30〜 8：00	着替え・ラジオ体操・作業支度
		8：00〜12：00	競技2日目（競技時間4時間）
		12：00〜13：00	休憩（昼食）
		13：00〜14：00	後片付け（私物・機具等）
		14：00〜16：00	作品見学・荷造り・配送手配等
		16：00〜17：00	表彰式
		17：00〜	記念撮影・着替え・貸切バスで宿舎へ移動
		19：30〜	懇親会、ホテル宿泊
後日	10/20（金）		各選手、ホテルチェックアウト、自由解散

審査員

月	日	時間	予定
前日	10/17（火）		各審査員任意の時間にチェックインし、ホテル宿泊 ※要前泊審査員のみ
第1日	10/18（水）	12：00〜12：30	各自昼食後、会場集合
		12：30〜13：30	着替え・記念撮影、審査員協議
		13：30〜13：40	競技課題の説明
		13：50〜14：20	開会式
		14：20〜14：30	ラジオ体操・審査準備
		14：30〜18：00	競技審査
		18：00〜18：30	1日目審査集計取りまとめ
		18：30〜	貸切バスでホテルへ移動、夕食、ホテル宿泊
第2日	10/19（木）	7：10	ホテル出発、貸切バスで競技会場へ移動
		7：40〜 8：00	ラジオ体操・審査準備
		8：00〜13：00	競技審査
		13：00〜	休憩（昼食）
		16：00〜17：00	表彰式
		17：50〜	貸切バスで宿舎へ移動
		19：30〜	懇親会、ホテル宿泊
後日	10/20（金）		各自、ホテルチェックアウト、自由解散

選手一覧

全37名

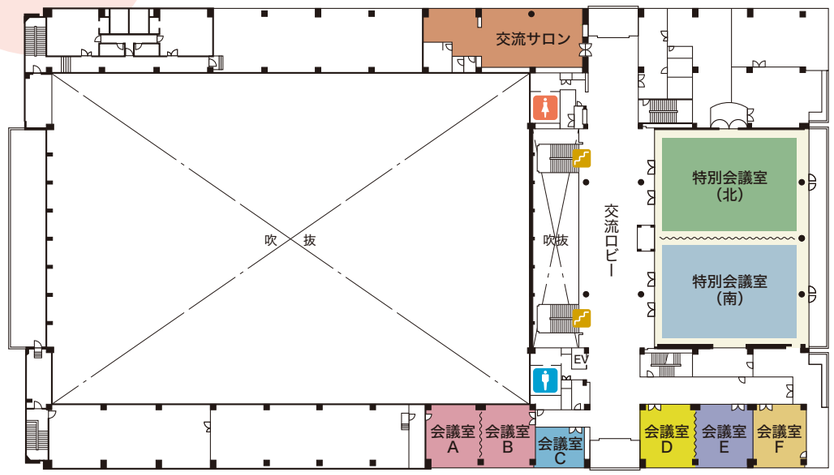
ブロック	選手氏名	よみがな	支部	所属事業所
北海道〈2名〉	松田　剛	まつだ　たけし	北海道	㈲丸正マツダ塗装
	鈴木　稔一	すずき　みのかず	北海道	㈱小林創業
東北〈4名〉	工藤　新次	くどう　しんじ	青森	㈲西北塗装
	中山　拓哉	なかやま　たくや	青森	㈲前田塗装
	大友　千春	おおとも　ちはる	岩手	㈱富士塗装
	菅原　裕輔	すがわら　ゆうすけ	岩手	㈱山口塗装店
関東〈5名〉	佐藤　拓真	さとう　たくま	茨城	㈱サトウ塗工社
	五月女　貴洋	そうとめ　たかひろ	栃木	㈱コイケ
	泉　真一郎	いずみ　しんいちろう	千葉	令和テクノス㈱
	加賀美　哲也	かがみ　てつや	山梨	㈲加賀美塗装店
	小山　聖	こやま　たかし	長野	宮澤塗装工業㈱
東京・神奈川〈4名〉	浅津　星亜	あさづ　せいあ	東京	佐藤興業㈱
	森　幸雄	もり　ゆきお	東京	佐藤興業㈱
	立川　陸	たちかわ　りく	東京	㈱中村塗装店
	新里　辰郎	しんざと　たつろう	神奈川	㈱ミスノ
北陸〈4名〉	渡邉　優	わたなべ　ゆう	新潟	斎藤塗装工業㈱
	今井　優太郎	いまい　ゆうたろう	新潟	ビソー㈱
	寺澤　一希	てらさわ　かずき	新潟	キムラ塗装工業㈱
	稲本　明修	いなもと　あきのり	富山	㈲平沢塗装
中部〈4名〉	石川　剛	いしかわ　ごう	静岡	日宏乃塗装㈱
	東　隆行	あずま　たかゆき	愛知	㈱乃一
	日比野　直哉	ひびの　なおや	岐阜	㈱日装
	田室　龍太郎	たむろ　りょうたろう	三重	㈱田室塗装
近畿〈4名〉	野々村　幹雄	ののむら　みきお	京都	㈱イマエ
	田中　直樹	たなか　なおき	大阪	㈱三木塗装店
	中本　敦史	なかもと　あつし	大阪	㈱石渡康三郎塗装店
	佐野　昭太	さの　しょうた	兵庫	㈲三共
中国〈3名〉	瀧本　公紀	たきもと　こうき	鳥取	㈱瀧本塗工店
	山下　隆次	やました　りゅうじ	広島	㈱ゼンヤ
	岩本　光春	いわもと　みつはる	山口	光塗装㈱
四国〈2名〉	今井　一	いまい　はじめ	愛媛	東洋防蝕工業㈱
	近藤　智香	こんどう　ちか	愛媛	東洋防蝕工業㈱
九州〈5名〉	横川　宏晃	よこがわ　ひろあき	福岡	㈲友栄
	前田　誠治	まえだ　せいじ	熊本	㈱KYO−SHiN
	押川　敏之	おしかわ　としゆき	宮崎	㈱くちき
	國生　力也	こくしょう　りきや	鹿児島	㈱市坪建装
	松本　真弥	まつもと　しんや	沖縄	㈲沖塗工業

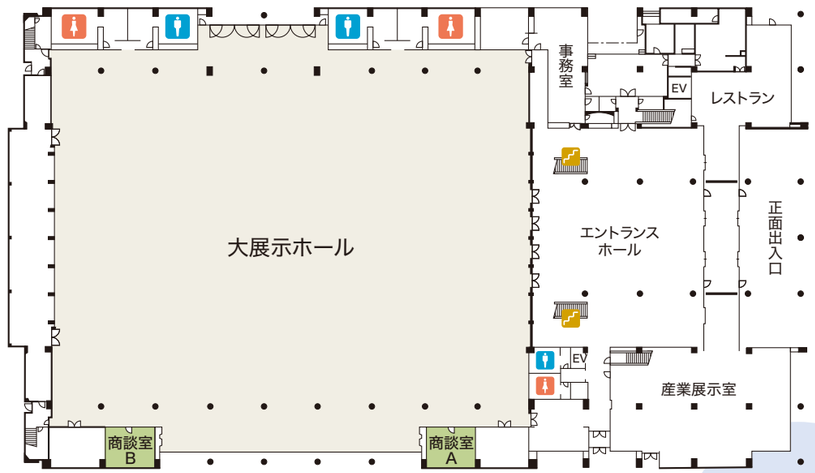
会場別タイムスケジュール

会場			月日	時間	予定
2階	交流サロン		10月18日	12:00～ 14:30～15:45	六委員長連絡会議 安全環境セミナー 役員控室として使用
			10月19日	10:00～11:30 15:00～	安全環境セミナー 来賓控室
	特別会議室	北側	10月18日	13:00～	出場選手記念撮影 役員・審査員記念撮影
		南側		13:30～13:40 13:50～14:20 16:00～	競技課題の説明 開会式 支部長会議
		全面	10月19日	16:00～17:00	表彰式・閉会式
	会議室 A・B		10月18日～19日	終日	選手控室（男性）
	会議室　C				選手控室（女性）
	会議室　D				本部委員会・メーカー控室
	会議室　E		10月18日	12:00～ 14:30～	正副会長会議 常任理事会
			10月19日	終日	本部役員・事務局控室
	会議室　F		10月18日～19日	終日	審査員・改革検討委員控室
1階	大展示ホール		10月18日	14:20～14:30 14:30～18:00	ラジオ体操、各作業準備 競技開催1日目
			10月19日	7:30～ 8:00 8:00～12:00	集合、ラジオ体操、各作業準備 競技開催 2日目
	商談室　A		10月18日～19日	終日	審査集計・筆耕室
	商談室　B				看護室

会場平面図

2階
平面図





1階
平面図

褒賞一覧

◆内閣総理大臣賞

◆国土交通大臣賞

◆厚生労働大臣賞

◆国土交通省　不動産・建設経済局長賞

◆厚生労働省　人材開発統括官賞

◆新潟県知事賞

◆長岡市長賞

◆中央職業能力開発協会会長賞

◆一般社団法人　日本塗料工業会会長賞

◆日本塗料商業組合理事長賞

◆日本建築仕上材工業会会長賞

◆一般社団法人　日本塗装工業会会長賞

◆課題別部門賞（6部門）　一般社団法人　日本塗装工業会会長賞

内訳

課題名
自由仕上げ（自由課題）
つや有り合成樹脂エマルションペイント刷毛塗り仕上げ
下地作業パテ平滑仕上げ
厚膜型シックイ仕上塗材　櫛引模様仕上げ
防水形外装薄塗材 E（単層弾性）ローラー塗り仕上げ
調色

◆特別賞：長岡造形大学
新潟日報社
一般社団法人　長岡観光コンベンション協会
一般社団法人　新潟県建築士事務所協会

一般社団法人日本塗装工業会について

建設塗装工事業者で構成された唯一の全国団体

一般社団法人日本塗装工業会は、建設塗装工事業者約2,300社で構成された47都道府県に支部を持つ唯一の全国団体です。昭和23年4月に任意団体として発足し、昭和34年5月には建設省の認可団体として社団法人に改組し、建設業法の届出団体となりました。平成24年には一般社団法人へと移行しました。設立から70年以上に亘り技術・技能の研鑽と向上に努め、社会の信頼に応えています。
我々は、建設産業の一翼を担う専門工事業者として、今後も団体の諸事業に真摯に取り組むとともに、各会員が仕事を通じて社会への貢献に邁進してまいります。の策定。その他、11月16日を「いいいろ塗装の日」として制定し、生活環境改善のためのボランティア塗装を奨励、社会福祉施設、公共施設等への奉仕塗装及び、「らくがきなくし隊」によるらくがき消し活動を実施しています。

目　的

会員相互の協力によって、建設塗装にかかわる技術と経営の進歩改善を図り、建設塗装工事業および住宅リフォーム事業の健全なる発達と建設文化の向上に寄与することです。
具体的には、技術・技能の向上と働く者の福祉の増進、各企業経営の安定を図り、業界全体の社会的・経済的地位を高め、建設社会により貢献致します。

事業活動

具体的な諸活動としては、総務、技術、経営、安全・環境、技能、普及の6委員会が実行し、組織の運営、特化した仕上技術の調査研究、企業経営に資する事業の展開、労働災害の防止と環境保全に関する調査研究、総合仕上のための専門技術と技能の普及及び人材の養成、需要の開発と普及の推進事業等を実施しています。
全体事業としては、国土交通大臣登録住宅リフォーム事業者団体として会員への研修・指導、耐火塗料塗装施工の推進事業、登録建設塗装基幹技能者の養成事業等を実施しています。
将来の建設業を支える担い手の確保が問題になっています。建設技能者一人一人が持つ経験や技能に応じた処遇が受けられるよう、能力評価について、塗装工事業が魅力ある職場として多くの方に入職していただけるよう、建設キャリアアップシステムの普及推進や、技能者の能力評価の策定。その他、11月16日を「いいいろ塗装の日」として制定し、生活環境改善のためのボランティア塗装を奨励、社会福祉施設、公共施設等への奉仕塗装及び、「らくがきなくし隊」によるらくがき消し活動を実施しています。

第27回 全国建築塗装技能競技大会

主　　催 ｜ 一般社団法人　日本塗装工業会
〒150-0032　東京都渋谷区鶯谷町19-22 塗装会館
TEL：03-3770-9901　FAX：03-3770-9980

主　　管 ｜ 日本塗装工業会北陸ブロック（新潟県支部・富山県支部・石川県支部・福井県支部）

担当支部 ｜ 新潟県支部
〒950-0912　新潟市中央区南笹口1-1-38 コープオリンピア笹口305号
TEL：025-241-7419　FAX：025-243-7578
E-mail n-tosoukaikan@star.ocn.ne.jp
http://niigata-nittoso.jp/